

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経済学研究科
大項目	0 理念・目的
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 研究科の理念・目的についてはHP等で社会に公開されているが、大学院生に対する周知徹底をさらに行う必要がある。	→研究科オリエンテーションなどを通じて、経済学研究科の教育目標等の周知徹底。	B
2. 研究科の目標等の定期的な検証は大学院執行部会や他の委員会で絶えず行われているが、今後もこれを継続していく。	→指標なし。	A

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

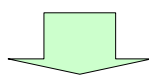
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目0.0.1	(理念・目標) 大学院生への更なる周知徹底 (現状説明) 研究科の理念については、適切であり、それを実現する目的については、社会等の変化を考慮しながら変更をする必要があるが、2009年度に設定したばかりの現在の目的については、その実現に努力しているのが現状である。
☆ 小項目0.0.2	(現状説明) 1. 理念・目的についての本研究科大学院生への周知徹底は実行されているが、本研究科以外の学部生、大学院生への周知徹底については、その優れた教育研究実態（ランチタイム・ワークショップ、経済学ワークショップの開催、『関西学院経済学研究』の発行、大学院生への経済的補助）があるにもかかわらず、その内容実績の広報が必ずしも十分ではない。
☆ 小項目0.0.3	(現状説明) 2. 執行部や各種委員会で審議した内容を研究科委員会に諮り、改善に向けての努力を行っている。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目0.0.1	
小項目0.0.2	
★ 小項目0.0.3	
その他	



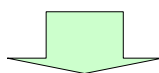
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目0.0.1	
小項目0.0.2	
★ 小項目0.0.3	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目0.0.1	
小項目0.0.2	社会的な広報活動。
★ 小項目0.0.3	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目0.0.1	
★ 小項目0.0.2	経済学研究科が実施しているさまざまな研究活動支援について、HPを含めて、さらに社会的に広報する手段を模索していく必要がある。
小項目0.0.3	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○研究科の理念・目的の広報については、一層の工夫が期待されます。

【学内委員】

- 小項目0.0.1の現状説明における(理念・目的)は、理念・目的そのものをお書きください。
- 現状説明の“理念・目標(目的?)”には、研究科の理念・目的そのものを記述してください。
- 理念の浸透に関して教員への徹底に関する働きかけも記述してはどうでしょうか。
- “改善すべき事項”の改善方策にはより具体的な記述が望まれます。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- ★ 経済学の高等教育機関として研究者を養成するとともに、研究機関として経済学の理論および応用を研究することにより経済学の進展に寄与することを理念として掲げる。

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

0.0.0.S1	本学の育成した人材(卒業生)に対する社会(企業)の評価
0.0.0.S2	卒業生がどの程度スクールモットー(マスタリー・フォア・サービス)をどの意識しているか
0.0.0.S3	卒業生のうち、自分の子供等、身内に関学への進学を勧めたいと思う人の比率
0.0.0.S4	卒業生のうち、自分の子供等、身内に関学への進学を勧めたいと思う人で、「スクールモットーに共感できる」ことをその理由とする人の比率
0.0.0.S5	在学生のうち「この大学で人生の一時期を過ごすことが、将来にとって役立つと思う」人の比率
0.0.0.S6	本学出身でキリスト教関連活動に従事する者(牧師を含む)の数
0.0.0.S7	理念の周知について(1)ー理念・教育目標を宣布する発行物・行事などの種類・数
0.0.0.S8	理念の周知について(2)ー総合コース「『関学』学」の履修者数

<個別的な指標>
